

○議長（井上勝彦君）順番8、20番 樽井君。

〔20番（樽井豪男君）登壇〕

○20番（樽井豪男君）予定外の出番がきましたので、さっさと質問をしたいと思います。

まず、1番目につきましては、和歌山国体における各施設の進捗状況。先ほど同僚議員からも、いろいろ経済効果とか競技のPRとか、ご質問がっております。私は、この各施設の進捗について、特に屋外競技のサッカー、ソフトボール会場の施設計画、並びに仮設施設のスタンド・フェンス等の計画を、今現在でわかっておりましたら具体的に説明を願いたいと思います。

第2点目の、駐車場対策につきましては、今、橋本市で行う各競技場の駐車場の確保については、どのように考えておるのか。また、確保できない場合については、どのような計画で一般客を各会場に誘導するのかという、この2点であります。あとは、また再質問の中で細かい内容についてはお聞きしたいと思います。

○議長（井上勝彦君）20番 樽井君の、和歌山国体における各施設の進捗状況に関する質問に対する答弁を求めます。

理事。

〔理事（吉田長司君）登壇〕

○理事（吉田長司君）2年後の橋本市における和歌山国体各施設の進捗状況についてのご質問にお答えします。

はじめに、各競技の施設内容についてですが、サッカー競技会場の橋本市運動公園多目的グラウンド関係については、ピッチ内にあるスプリンクラー等の移設を行う予定で、平成25年6月中に完成予定となっております。ま

た、ウォーミングアップ場を建設予定していましたが、県サッカー協会と協議を行った結果、グラウンドのあきスペースで対応できる見通しですが、決定に至っていません。万が一、対応できない場合は、平成26年度で対処する予定です。

次に、ソフトボール競技会場の南馬場緑地広場関係ですが、会場内への乗り入れ道路建設については、平成25年7月中に完成予定となっております。駐車場及びグラウンド整備については、平成26年度及び平成27年度の渇水期、これは10月15日から翌6月15日までですが、この間に予定をしています。

続きまして、バレーボール競技会場の県立橋本体育館、紀北工業高校体育館ですが、施設的には整備の必要はないと考えています。

次に、各競技会場の大会運営施設の配置計画については、現在作業中で平成25年3月中に完成予定です。この配置設計に基づき、競技用備品及び施設、また運管用備品及び施設については仮設対応とし、リースで計上したいと考えています。

次に、2点目の、駐車場対策についてですが、ソフトボール競技会場の南馬場緑地広場には、選手・監督も含め期間中1万1,000人が来場する見込みで、一日当たり最大約4,000人の来場者を見込んでいます。現在の駐車可能台数が200台、乗り入れ道が完成し、河川敷を駐車場とすると500台、あわせて700台の駐車場が可能となりますが、若干不足も懸念されるため、神野々緑地広場も考えているところです。この広場の駐車場可能台数は250台で、南馬場緑地広場まではシャトルバスの運行を考えています。

続きまして、サッカー競技及びバレーボール競技が開催される運動公園会場ですが、協議が重なる状況でもあり、期間中2万4,000人が来場する見込みで、一日当たり最大で約8,200人の来場者を見込んでいます。しかしながら、橋本市運動公園内の駐車場可能台数が780台ということもあり、約700台分不足となります。それを補うため、橋本市民病院の西隣の南海電鉄用地を借用し、駐車場用地として約650台、あわせて1,430台分での対応を考えています。なお、借用地から運動公園まではシャトルバスの運行を考えています。

また、もう一箇所のバレーボール競技会場、紀北工業高校については、期間中、1万3,000人が来場する見込みで、一日当たり最大で約5,700人の来場者を見込んでいます。紀北工業高校の駐車可能台数が40台、神野々緑地広場で250台、さらに南馬場緑地広場駐車場に700台とあわせ、990台分での対応を考えています。

南馬場緑地広場駐車場は、ソフトボール競技会場となっていますが、ソフトボール競技とバレーボール競技の日程は重複開催することはありません。南馬場緑地広場から紀北工業高校まではシャトルバスの運行を考えています。

以上でございます。

○議長（井上勝彦君）20番 樽井君、再質問ありますか。

20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）まず一つ目の、特にリース関係なんですけども、恐らく、この仮設材をリースでする場合に、県から補助金が何がしかあると思うんですけども、それと、今言うておるサッカー場の一部スプリングラーのところを整備するとか、また、ソフトボールのグラウンドの整備等につきまして、それと、もう一点、シャトルバス、それもすいません、駐車場でいきます。それについては、

県の補助があるんかどうかをお伺いいたします。

○議長（井上勝彦君）理事。

○理事（吉田長司君）今のところ、県から正式な補助率ということじゃございませんけれども、感触、それから過去の山口国体、岐阜国体の状況を勘案しまして協議しているところですが、リース関係は、リハーサル大会で県が2分の1、市が2分の1ということになっています。本大会におきましては、県が3分の2の補助で、残り3分の1が市ということになってございます。

ただ、永久施設、スプリングラーの移設なんかもそうでございますけども、最終的に国体が終わっても残る施設については、市独自でやっていかなければなりません。

もう一つ、橋本体育館と紀北工業高校の備品についても、それからいいましたら、県が3分の2で市が3分の1持たなければいけないということになるようでございます。

それと、駐車場ですか。駐車場のシャトルバスの費用、それから駐車場整備費用につきましては、現在協議中ということで、見積もりは出させていただいております。ということで、県のほうはかなり橋本市の額が大きいので、慎重に……

○議長（井上勝彦君）理事、再質問してないんで。駐車場は。

○理事（吉田長司君）駐車場の費用の補助金ですね。その補助率については、まだ現在決まっていません。協議中でございます。

○議長（井上勝彦君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）一応リースでは、プレでは2分の1、本大会では3分の2ということで、一つ例にとりますと、特にソフトボール会場の外野フェンス、フィールド内のフェンスなんですけども、これは高さが1.2m以上ということで決まっております。その中で、

今単純に計算しますと、恐らく、以前、市の国体の推進室の中で聞いた話ですけども、そういったフェンスのリース代というのは、メーター当たり5,000円要るとするのは若干聞いたことがあります。これが、プレと本大会で2回使うということですので、これが2回使うということは、メーター1万円単純にかかる。それをもし買い取った場合に、新品を買って、定価的には3万円ぐらいすると思うんですけども、それがひよっとしたら1万2,000円程度で買えるかわからん。そうすればメーター1万2,000円。またそれが後々ソフトボールの協会としては、毎年近畿大会等が行われておりますので、そういった会場にもまた使用できる。

ただし、今理事の言うとおりに、県からそういったリースについては補助があるけども、それがつかないということで、今のところそういった県の考えですけども、非常にこれは全日本のソフトボール協会とリース会社がなんか結託と、語弊ありますけども、リース会社が非常にもうけるというんか、それだけの施設を何回使えるんよと。何回引き回しできるんよというのがあると思うんですけども、やはり市としても、会場自身が、国体が終われば何も残らないというのが非常に残念なことであって、今回2面をつくるんですけども、たとえ1面でも、そういった買い取りも検討されてはいかかかなと思います。それはまた答弁いただきたい。

その点、もう一つは、今回ソフトボール会場、河川敷の南馬場緑地でありますので、朝から同僚議員のほうから河川の増水等もあると思うんですけども、昨年ここが秒速約1,200tで大方つかる可能性があるということで質問させていただいたんですけども、もし、そういった場合も考えた中で、代替の確保というのは、まず考えておられておるのか、その

2点をお伺いいたします。

○議長（井上勝彦君）理事。

○理事（吉田長司君）まず、ソフトボール会場南馬場緑地の関係でございますけれども、この場所については、2会場というんですか、2面のソフトボールのグラウンドを想定してございます。ということで、リハーサル大会と本大会ということで考えさせていただきましたら、リハーサルと本大会、ちょっと違うのが、照明設備が本大会だけ要ということでございます。

ということで、その条件だけで結果をちょっと言いますと、リハーサル大会もリース、本大会もリースということで、2グラウンド分でリース料が2,271万円かかります。これは市の見積もりでございますので、誤差があると思えますけども2,271万円。それで、リハーサルが2分の1の本大会が3分の1ということで計算しますと、県が1,361万4,000円、市が909万5,000円ということになってきます。それが、1会場分だけをネットフェンスを購入ということにしますと、その1会場分のフェンス購入費が518万4,000円ほどかかります。それで、あと残りの、それによってリハーサル大会もそのネットフェンス分だけがリースの必要がないということと、本大会でも必要ないということとをトータルしまして、購入は市が買うということで積算しますと、購入も含めまして2会場分で2,257万3,000円。そのうち、県の持ち分がリース料が減ってきますので1,048万8,000円、それから市の持ち分が1,208万5,000円ということで、1会場分購入により、全部がリースにするよりも、県の負担が312万6,000円少なくなると。そのかわり市が買わなければいけないので、市が298万9,000円ということで、約300万円の増額になると。ただ、単独購入しましたら518万4,000円かかりますので、この大会にあわせて購入

したら約300万円ということで、200万円ほど安くできるということになります。

その辺も加味した中で、あとソフトボール協会のほうから、実質ちょっと1会場分何とかならんのかなというような口頭の、今、意見もございまして、要望書を出していくんやというような動きがあるようでございます。それにつきましては、その辺の要望の内容も聞かせていただきまして、判断の一つにしたいかなと、していけばなというふうに考えてございます。現在のところ、まだ購入という決定もしていません。リースのほうで進んでいる状況です。

それと、南馬場緑地が河川敷ということで、浸水の心配はないかということでございますけれども、秋の大会でございますので、ないことはございません。ただ、前回は大滝ダムの供用が開始してなかった状況での南馬場緑地の浸水でございました。ということで、その後、1カ月後ぐらいから試験湛水もしながらしている中で、どれほどの大滝ダムによる安心度が上がったのかということも、国土交通省に聞いてみましても、ちょっと詳しくは言われてございません。そういうことで、そういうことを加味しながら、ほかの高校のグラウンドなんかをお借りするような形で考えている状況です。ただ、その期間中、高校が休校にせんなん可能性も出てきますので、それについては慎重に進めていきたいなというふうに考えてございます。ということで、南馬場緑地については、そういう状況でございます。

○議長（井上勝彦君）20番 樽井君。

○20番（樽井豪男君）ありがとうございます。

まだ、3月中に施設の配置計画という段階で、ちょっと込み入った質問をして申しわけないんですけども、先ほどのソフトボールのネットフェンスは、総額は2,000万円かかると

思いますけれども、実質1面をくくろうと思ったら約二百五、六十mがネットフェンスが必要だと思います。それで約300万円程度じゃないかなと思うんですけども、その一部でも、やはり県がそんな仮設やったらオッケーよと、市の持ち物やったらだめよと。それが非常に私も納得できないので、もっと県に対して、やはり市としても各自治体と力をあわせて、こういうことをもっと県に働きかけるべきじゃないかなとは思っています。

それと、ソフトボール会場の雨のときといいますと、各学校もあるんですけども、やはり紀の川グラウンドのほうが、ちょっと若干1m以上は高いんですよ。南馬場緑地より。そういったところもある程度視野に入れて、今後検討していただきたいとは思っています。

続いて、駐車場対策につきましては、もう一つ、台数的にだいたい1日1,400台を目安とされておりますが、今現在、運動公園では780台ということであるんですけども、これは私の勝手な案ですけども、今の公園の体育館の西側に市の所有地があります。もともとは、あそこへ野球場の計画があったところなんですけども、そのところを切り盛りをしてでも確保すれば、約8,000m<sup>3</sup>ほどの土を動かすことになるんですけども、それで約300から500台の増設も可能やないかとは思っています。

そういった検討も加味していただいて、恐らく、これがまだまだ市の調整会議等には、今の2点については、かかってないと思うんですけども、やはり国体の推進室としては、いろんな案を出して市の政策に乗せ、また推進委員会なり実行委員会に提案すべきじゃないかと。もしリースばかりで行って、極端に言うたら、実行委員会が、市の財産として国体が済めば何も残らないということじゃだめやと。やはり施設としては何か残るようなことをすべきやないかと、そういうご意見が

出れば、市としても本当に考えるんか。いやもうお金がないんで、ちょっとでも金かけたくないよということで思われるんか、そこらあたりのお考え、どうですか。

○議長(井上勝彦君)議長より申し上げます。本日の会議時間は議事の都合によりあらかじめこれを延長します。

理事。

○理事(吉田長司君)まず、運動公園の南側の一番原田小峰台線に面したところの土地でございますけれども、ざっと簡単な造成をしますと、300台強の駐車場は完成するのは視野に入れているわけでございますけれども、それが国体終わった後、どれだけの利用度があるかということと、それから、それによって病院の西側に設置するシャトルバスの基地でございますけれども、その軽減につながるかということも含めまして、だいたいの事業費も出してございますけれども、今後、一応もう少し精度の高いところで検討しなければいけないかなというふうに考えてございます。ただ国体だけで使ったときで、それ以降は使わない広っぱになってしまうということもあってはいけませんので、その後も必要であれば使うような目的が考えられるのであれば、つくっていききたいなというふうに考えてございます。

それと、できましたら大会役員とか記者の方とか、大会の関係者については、シャトルバスじゃなしに運動公園の中の駐車場で利用していただくような考え方でございますけれども、それが、その人のためには必要か必要でないかという判断も同時にしていきたいなというふうに考えてございます。

同じように、南馬場のフェンスにつきましても、陳情の中で、今後もそういうことで必要であると、必要というか使っていくということがございましたら、それも国体終わって

リースばかりで何もなかったということのないように、必要なものについてはこの際ということも、財政と考えながら計画したいなというふうに考えてございますので、その検討につきましてはこれからの課題でございますので、ご理解のほど、よろしくお願ひしたいなというふうに考えてございます。

○議長(井上勝彦君)20番 樽井君。

○20番(樽井豪男君)今、理事のことがええ答えに近いんか、非常に灰色っぽいということの解釈ですけども、やはり駐車場についても、この前の市民マラソンで約1,300人来られて、今の市民マラソンの駐車場の状態というのはほとんど満杯状態です。それで送り迎えされる方もあって、それ一つとっても、やっぱりあと300台、400台ができる土地がありますので、それが何千万円かかるとかというものでもないで、今後のイベント等でも十分対応できるんじゃないか。

それと、最後になりましたけども、やっぱりこういったことを、もっと県に発信していただくというのが、ちょっとでもお金をもらうというのが大事です。

それと、最後に一つだけ質問したいと思えます。今回、今現在の国体の推進室の職員は、今、バイト、嘱託も含めて7名ということになっておりますけども、恐らく、今後これからどんどんいろんな計画等、またプレなり、本番始まりますので、こういった7名体制でいけるのかどうか。今後、増員計画があるのかどうかをお聞きして、私の質問を終わりたいと思えます。

○議長(井上勝彦君)理事。

○理事(吉田長司君)最初に、はじめの、県にもどンドン言っていくべきだという、そのとおりだと思います。今まででも、基本的な宿泊の問題とか、かなりありましたので、その辺のほうにかなり体力を割っていたところ

がでございます。これから実行委員会が立ち上がっていく中でも、また実行委員会でかけていくようなものが、下地というんですか、そういうものをつくっていかねばいけませんので、そういう補助金の問題、それから、県がどこまでしてくれるのかというのを詰めていかねばいけないというふうに考えてございます。

これからはどんどん、今まででも言っておりましたけども、なお一層そういうことで、紀の川市なり、同じような協議をやっているところと連携しながらやっていきたいと思えます。

それと、体制でございますけれども、現在、橋本市は正職、嘱託・臨時職員含めて7名でございまして、来年度からは10名体制にしたいなというふうに考えてございます。開催年につきましては、先進地の岐阜県の山県市なんかは3種目やってまして、それから山口県の宇部市なんかでも3種目やってまして、当該年度は13人ということになってござ

います。そういうことで考えますと、私どものほうも、最終的には13人ぐらいは最低必要かなというふうに考えてございますので、そういう増員計画に基づきまして、増員をしていきたいなというふうに考えてございます。

以上です。

○議長（井上勝彦君）20番 樽井君の一般質問は終わりました。

---

○議長（井上勝彦君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会し、明3月5日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

皆さん、ご苦労さんでした。

（午後5時2分 延会）